

自筆資料に見る南方熊楠…………… 14

「玉置三七郎宛南方熊楠書簡に関して」

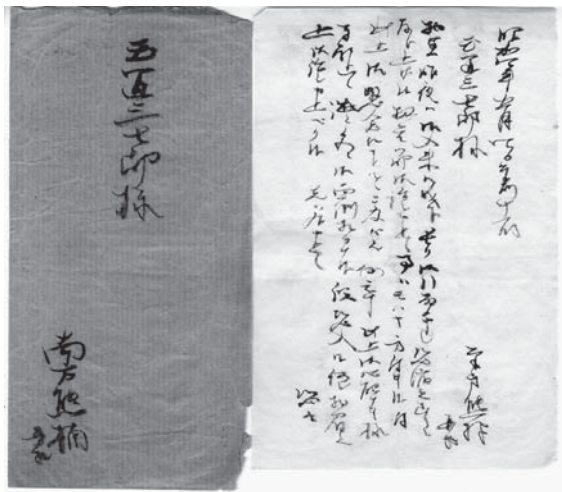
文／広川英一郎（東京都立高校教諭）

昨年12月21日付で発行されました『南方熊楠 NEWS LETTER』20号に、顕彰館に最近寄贈された熊楠の自筆資料が紹介されており、早速館にて閲覧させて頂きました。この内、左海凱隆氏が寄贈された「玉置三七郎宛南方熊楠書簡」について管見を述べさせていただきます。書簡は便箋が1枚のごく短いもので、封筒には切手も郵便局印もなく、文中の日付の前後の日記から使用人に直接持って行かせたものと考えられます。

「昭和四年五月四日午前十一時 玉置三七郎様 南方熊楠再拜 拝呈 昨夜は御入来成被下 長く御引留め申し恐縮之至りに存じ上げ候 扱其節御話し申上候事はもはや片付候付 此上御懸念被下るに及ばず 何卒此上御心配なき様 奉願上候誠に色々御面倒相かけ候段 恐入候 何れ拝眉之上御話し申上べく候 先は右申上候 恐々」(片仮名を平仮名に改めています 以下同)

熊楠から玉置へ、昨夜(5月3日)に相談した内容は解決したのでお気に懸けないで下さい、という内容で、丁寧な文面と言えます。このやりとりに関しては、『熊楠研究』第七号に所載の小畔四郎宛書簡(p222～、18・19番の書簡)に詳しい様子が書かれています。熊楠は玉置を「白浜自動車会社の副支配人如きものにて、社長の婿たる玉置三七郎」と記しています。当時、昭和天皇の神島行幸を実現させようと運動していた熊楠は、和歌山県知事と「白浜自動車会社」と京都帝国大学とが結託して、天皇を神島ではなく京大の管轄である島島へ行幸させようとしているのではないかとこの疑念を抱いていました。この時の熊楠の日記を確認しますと、5月2日に「夜八時半玉置三七郎氏 今夕下女に状持せ招きしにより来り十一時半迄話して去る。」とあり、3時間にわたって行幸先を島島ではなく神島にするよう訴えたことがうかがえます。この結果、「玉置 大に気の毒がり社長に謀るべしとて返り去り候」(小畔宛書簡)とあります。翌朝の日記によれば、熊楠は徹夜明けのまま午前9時に届いた郵便物に目を通します。この中に、小畔から神島への行幸が決定的となった旨の報告が書かれた葉書があり、今回の寄贈資料である「お断りの手紙」を玉置に宛てて午前10時に記すことになったと思われます。前述のように、文面はいたって丁寧なものです。小畔に宛てた手紙には、玉置に対して「実は予にはもはや争論などして日を送るべき兵糧なし、故に当分休戦とすべし。因て折角設備したることなれば安心して行幸を迎へ大儲けすべし、其間に当方は隨筆の原稿を修正して書肆へおくれば二千元はいり来る。それを資本として行幸後此事を争論すべし(中略)と申しやり候」と、けんか腰の文面を書き送ったかのように書いています。熊楠一流の照れ隠しといった印象で、微笑ましく感じられます。

玉置三七郎に関しては、平成22年に顕彰館に寄託された雑賀貞次郎宛書簡(『熊楠 works』No.37参照)の中に雑賀に宛てた書簡が遺っており、やはり切手と消印のない封筒に巻紙が収



められたもので、年号が記されていません。白浜まで鉄道が開通しており4月22日が日曜日であるという条件から、昭和9年の書簡ではないかと推測されます。瀬戸鉛山村長(現白浜町)とともに、京都大学の農園を見学に行きたいという内容で、最後に御紹介させていただきます。

「拝啓 此程は本に御厄介になりました、先日一寸申上げました高槻町京大農園見学の件 本日瀬戸鉛山村長と打合せ、明後二十二日(日曜)に決定しました 朝午前八時十五分白濱口駅発(田辺駅発は八時三十五分)急行車で立つ事にしました。お繰合せ願ひ得るならば御一所にお出で願ひ度く存じます。(小生一寸外に用件あり先発しますので勝手乍ら旅費等小生後より御渡ししますから御立替出発願ひ度く) 車中 小生から依頼したること、村長とお打合せ願ひます 高槻町でお目にかゝります、先は 四月二十日夜 玉置三七郎 雑賀雅台 梧下」

CONTENTS

第24回南方熊楠賞 授賞式	…2
第9回 南方熊楠ゼミナール 基調講演 山折哲雄	…4
第9回 南方熊楠ゼミナール 研究発表 田村義也	…10
第9回 南方熊楠ゼミナール 研究発表 志村真幸	…17
第9回 南方熊楠ゼミナール 研究発表 安田忠典	…20
第9回 南方熊楠ゼミナール 研究発表 松居竜五	…25
第16回特別企画展 案内	…29
キューバの南方熊楠 高藤清明	…31
南方熊楠蔵書『三花類葉集』と著者伊藤伊兵衛について 郷間秀夫	…33
南方熊楠と同級生たち 武上真理子	…34
書簡の杜(十) 岸本昌也	…36
海辺のクマガス 第五回 安田忠典	…38
『熊楠』生物覚え書 ⑩ 土永知子	…40
熊楠メモランダム《7》 辻晶子	…41
書評・書籍紹介 小峯和明	…42
『南方熊楠の説話学』と比較説話研究 趙恩鶴	…44
『南方熊楠の説話学』について 高 陽	…46
書評・書籍紹介 橋爪博幸、志村真幸	…48
平成26年度閉館カレンダー	…51